Operation Guide 3077

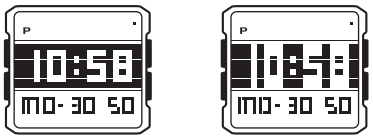
CASIO

液晶表示について

■ オートズーム表示機能

エディットモード（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）以外のモードの「セット中以外の状態（表示が点滅していない状態）」のときに、本機を自分の方に傾けると表示画面の中段部分が約２秒間ズーム表示（拡大表示）になる「オートズーム表示機能」がついています。

<通常の表示>　<ズーム表示（拡大表示）>



※本機の傾け方は、オートライト機能と同様です。詳しいことは、「ライト点灯について」の「ライトを点灯させる」をご覧ください。

■注意事項■

- ズーム表示中にいずれかのボタンを押すと、ズーム表示を解除します。
- アラームなどが鳴っているときは、ズーム表示は行ないません。
- ズーム表示後、時計を傾けたままにしておいても、ズーム表示は約２秒間のみとなります。
- オートライトONのときは、ズーム表示と同時にライトも点灯します。

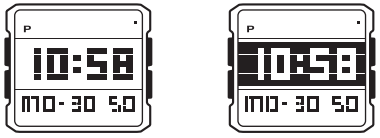
■ 表示スタイル

本機の「液晶表示の中段部分」の表示方法は、2種類あります。

- 背景の色が、上段／下段と同じ色になっているAタイプ（レギュラー）
- 背景の色が、上段／下段とは反対色になっているBタイプ（リバース）

「表示するタイプを選んで設定する」ことや、「表示タイプを時刻によって自動的に切り替える」こともできます。

<Aタイプ>　<Bタイプ>



表示スタイル設定の切替えは、エディットモードで行ないます（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。なお、記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」または「黒地に白」で描写しております。ご使用になる製品によっては、記載しているイラストの黒い部分または白い部分（「時刻」や「機能がONになっているときに点灯するマーク」など）が、「他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

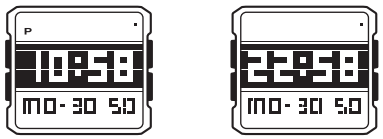
※イラストは、工場出荷時の状態の「12時間ごとに表示タイプを切り替えるパターン」になっています。

各種設定の切替えについて

本機では、以下の項目の設定を切り替えることができます。設定の切替えは、エディットモードで行ないます（「各種設定の切替えのしかた（エディットモード）」参照）。

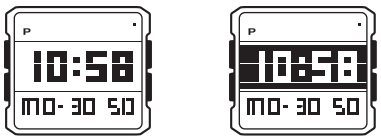
- ボタンを押したときの「操作音」：鳴らす／鳴らさない
- アラーム音のパターン：3種類
- 時刻表示：12時間制／24時間制

<12時間制>　<24時間制>



- 表示スタイル：５種類（A タイプ／B タイプ／両方のタイプを時刻によって自動切替え）

<Aタイプ>　<Bタイプ>



- 時刻モードとワールドタイムモードで 00 秒になったときに表示するアニメ：行なう／行なわない

デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示では５秒ごとに表示タイプが切り替わります。

※デモ表示中はオートライト機能、オートズーム表示機能以外の操作はできません。



●デモ表示の解除

いずれかのボタンを押します。

●デモ表示の設定

時刻モードのとき、Ⓒ ボタンを約３秒間押し続けます。

グラフィック表示について

点灯／消灯のしかたは、下記の通りです。



モード	グラフィック
・時刻 ・ワールドタイム	時刻に連動して1秒ごとに点灯／消灯します
・アラーム ・エディット	点灯しません
・ストップウオッチ	計測値に連動して点灯／消灯します（1／10秒単位）
・タイマー	計測値に連動して点灯／消灯します（1秒単位）

※ 時刻モードとワールドタイムモードの「オートズーム表示中」や「ライト点灯中」は、グラフィックの動きが速くなります。

※ セット状態ではグラフィックは点灯しません。

ライト点灯について

暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能やオートズーム表示機能（「オートズーム表示機能」参照）のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

すべてのモードの「セット中以外の状態（表示が点滅していない状態）」のときに

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すと約２秒間ライトが点灯します。

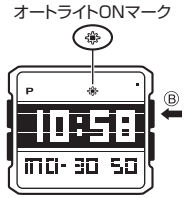


※オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと点灯します。

■ 時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけでライトが点灯する機能です。

準備：時刻モードの「セット中以外の状態（表示が点滅していない状態）」のときに、Ⓑ ボタンを約３秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑ ボタンを約３秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ライトご使用時の注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が確認しにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどの電子音が鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、ライトが点灯する際の振動音で、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライトONにしてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライト OFF になります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードで Ⓑ ボタンを約３秒間押し続けてオートライト ON マークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

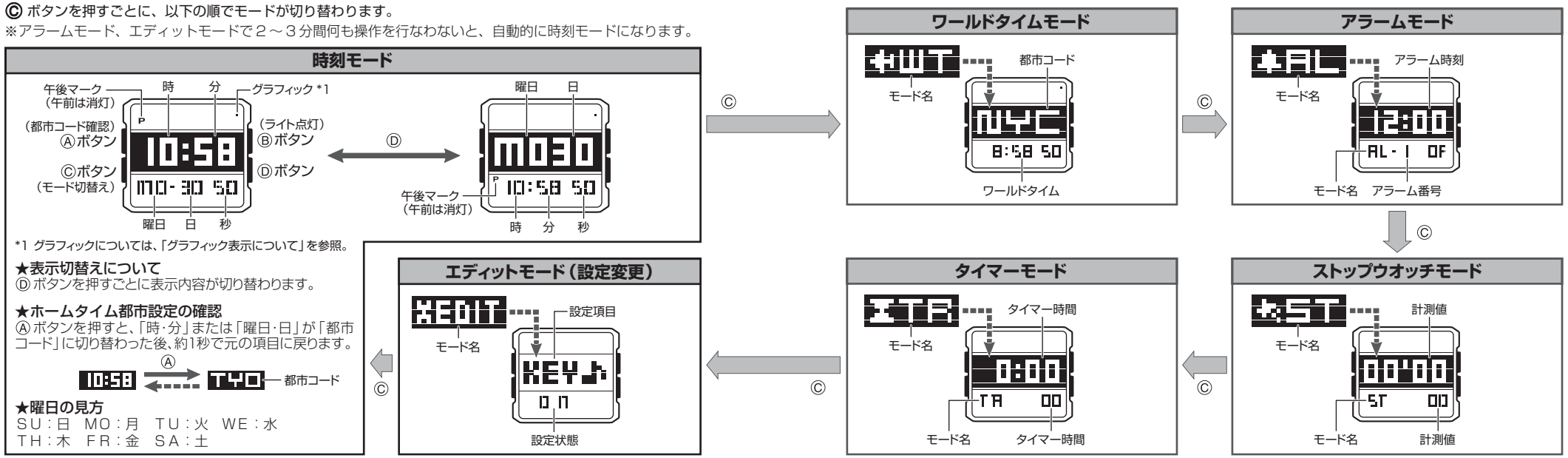
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約２秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ず OFF** にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモード、エディットモードで２～３分間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードになります。



ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ 12/24 時間制は、エディットモードの時刻表示設定の設定状態で表示されます。

ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

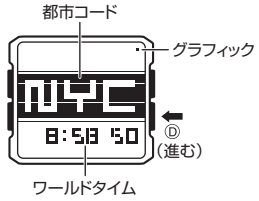
* 確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・カレンダー合わせ」参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※Ⓓ ボタンを押し続けると早送りします。



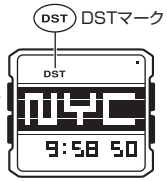
■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡サマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	−11	パゴパゴ	IST	+2	イスタンブール
HNL	−10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	−9	アンカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	−8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	−8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	−8	ロサンゼルス	THR	+3.5	テヘラン
DEN	−7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	−6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	−6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	−5	マイアミ	MLE	+5	マーレ
NYC	−5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	−4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	−3.5	セントジョンズ	RGN	+6.5	ヤンゴン
RIO	−3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	−1	プライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	+0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	+0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は 2006 年 12 月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

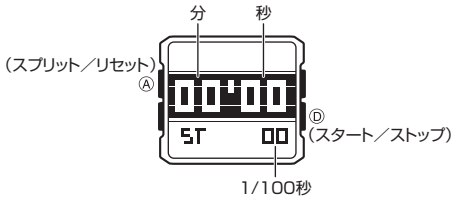
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPL" 表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

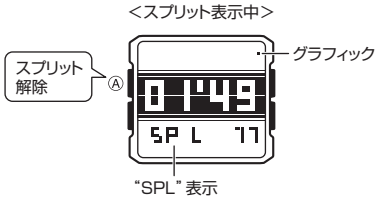
●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット



●1・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

時分を設定できるアラームが5本あり、設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

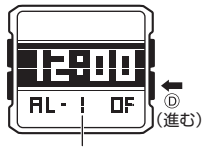
■ アラーム時刻のセット

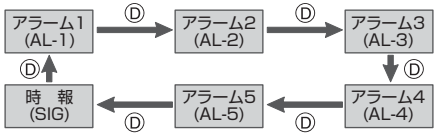
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

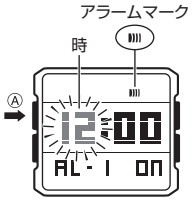




2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

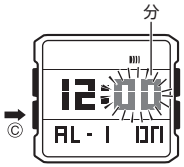
➡「時」が点滅します。
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

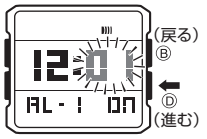
➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順3.～4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。
※12/24時間制は、エディットモードの時刻表示設定の設定状態で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

■ アラームのON／OFF設定

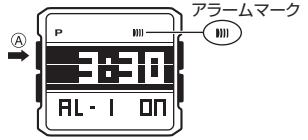
準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームのON／OFFが切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。

<アラーム1表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、エディットモードで設定しているアラーム音のパターンで電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON／OFF 設定

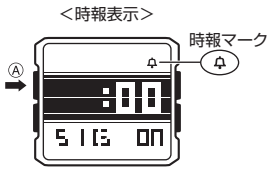
準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報のON／OFFが切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは１分単位で24時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10秒間電子音が鳴ります。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

以下の２種類があり、使い方に合わせて選ぶことができます。
* タイマー方法の選び方については「タイマーのセット」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻って、繰り返し計測を行ないます。

■ タイマーのセット

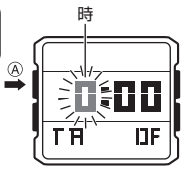
1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

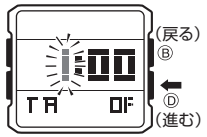


2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



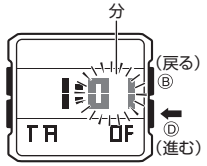
※タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。

3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

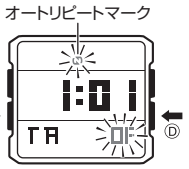
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

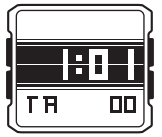
➡ Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー “ OF ” とオートリピートタイマー “ On ” が切り替わります。



5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。



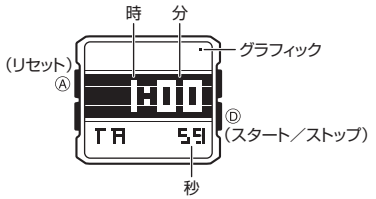
■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※計測は１秒単位で行ないます。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

各種設定の切替えのしかた(エディットモード)

「操作のしくみと表示の見方」にしたがいⓒボタンを押し、エディットモードにします。

エディットモードでは、以下の項目の設定を切り替えることができます。

- ●ボタンを押したときの「操作音」：鳴らす／鳴らさない
- ●アラーム音のパターン：３種類
- ●時刻表示：12 時間制／24 時間制
- ●表示スタイル：５種類（A タイプ／B タイプ／両方のタイプを時刻によって自動切替え）
- ●時刻モードとワールドタイムモードで 00 秒になったときに表示するアニメ：行なう／行なわない

■切替えのしかた

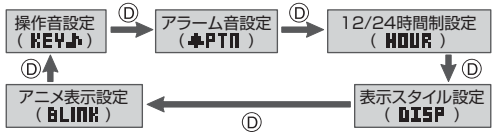
1. 設定を切り替えたい項目を選ぶ

エディットモードのとき

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに、以下の順で項目が切り替わります。切り替えたい項目を表示させます。



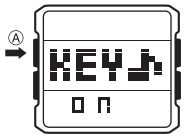
2. 設定を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押して設定を切り替えます。

a.「操作音設定」のときは…

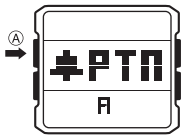
Ⓐボタンを押すごとに、操作音の On（鳴る）／OF（OFF：鳴らない）が切り替わります。



b.「アラーム音パターン設定」のときは…

Ⓐボタンを押すごとに、アラーム音のパターンが切り替わります。A、B、C の３つのパターンから選ぶことができます。

※実際のアラーム音の鳴り方を確認するときは、Ⓒボタンを押してアラームモードにし、「モニターアラーム」の操作を行なってください。



c.「12/24 時間制設定」のときは…

Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



d.「表示スタイル設定」のときは…

Ⓐボタンを押すごとに、表示パターンが切り替わります。



12H：時刻モードの時刻の「時」にしたがって、12時間ごとにAタイプとBタイプを切り替える
午前６時～午後５時（６時～17時）：Aタイプ
午後６時～午前５時（18時～５時）：Bタイプ

REG：Aタイプ（レギュラー）

REV：Bタイプ（リバース）

30”：時刻モードの時刻の「秒」にしたがって、30秒ごとにAタイプとBタイプを切り替える
00秒～29秒：Aタイプ
30秒～59秒：Bタイプ

30’：時刻モードの時刻の「分」にしたがって、30分ごとにAタイプとBタイプを切り替える
00分～29分：Aタイプ
30分～59分：Bタイプ

※時刻によって切り替わる表示スタイルに設定した場合でも、「各セット状態」や「エディットモードの他の項目」ではAタイプ（レギュラー）で表示されます。
なお、「表示スタイル設定」のときは、１秒ごとに表示タイプが切り替わります。

e.「アニメ表示設定」のときは…

Ⓐ ボタンを押すごとに、時刻モードとワールドタイムモードで 00 秒になったときに表示する時分桁アニメの On（行なう）／OF（OFF：行なわない）が切り替わります。

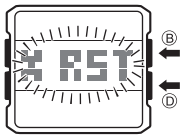


■項目すべてを初期設定にリセットする

《初期設定》
操作音設定：On（鳴る）
アラーム音パターン設定：A
12/24 時間制設定：12H
表示スタイル設定：12H
アニメ表示設定：On（行なう）

エディットモードのとき

Ⓑ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に、約３秒間確認音が鳴るまで押し続けます。



➡“RST”と点滅表示し、初期設定にリセットされると、この操作を行なう前の表示になります。

CASIO

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

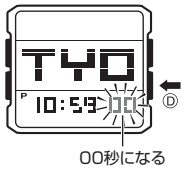
Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 時報に合わせてⒹボタンを押します



➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。

3. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約1秒間押し続けます



➡「秒」が点滅します。

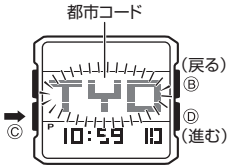
※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓒボタンを押します

➡都市コードが点滅します。

Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります（「都市コード一覧」参照）。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

例）
東京（日本）の時刻に合わせるときは、都市コードを“TYO”に設定します。

3. サマータイム（DST）のON／OFFを選ぶ

Ⓒボタンを押します



➡DSTマークとOnまたはOFが点滅します。

Ⓓボタンを押します

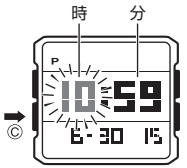
➡ON／OFFが切り替わります。

※ OF＝サマータイムOFF（通常時間）
On＝サマータイムON（夏時間）

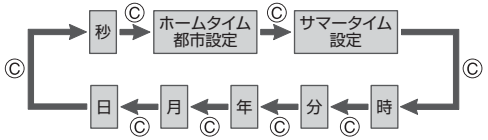
※ サマータイムをONにすると、通常の時刻より1時間早まり、時刻モードとアラームモードでDSTマークが点灯します（サマータイムについては「サマータイム（DST）について」参照）。

4. 「時刻・カレンダー」合わせ

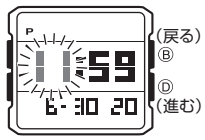
a. Ⓒボタンを押します



➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき、午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

※12/24時間制は、エディットモードの時刻表示設定の設定状態で表示されます。

※「日」は、一桁（1～9）の場合、01～09と表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。